

## 事業評価書（事後評価）要旨

### ○ 政策評価の対象とした政策

インターネットによる古典籍の紹介（事業評価）

### ○ 政策の目的

書陵部図書寮文庫において収蔵する古典籍の目録のデータベースを作成し、画像データとともに宮内庁ホームページを通じて広く国民に紹介し、利用者の利便性の向上を図ることを目的とした。

### ○ 政策評価の結果の概要

#### （必要性）

古典籍の目録について、インターネット上にデータベースとして公開したことにより、場所の制約なく容易に確認ができるようになった。また、主な古典籍の画像が閲覧できる目録・画像公開システムへは、月平均約9万6千件のアクセス数があり、同システムの需要は非常に高かったものと考えられる。

#### （有効性）

アンケート結果によると、このシステムを使うことで、閲覧が便利になる（なった）と思うという回答が88%を占めており、画像に簡単な解説を付して公開している「ギャラリー」ページについて、興味深い、おもしろいといった肯定的な評価が多く寄せられている。

学識経験者の意見においても、システムは利用しやすいという評価や、書陵部が率先して画像公開を進めることで他へも良い影響を及ぼすことが期待されるといった評価がなされている。

#### （効率性）

目録・画像公開システムの賃貸借及び保守の契約については一般競争入札を実施し、経費の節減を図った。画像公開に当たり、既に他機関で画像が公開されている古典籍に関しては、当該他機関の了承を得て、そのURLにリンクを貼った上で公開し、また、過去に利用者がマイクロフィルム化した古典籍については、当庁に寄贈されたマイクロフィルム等をデジタル化して公開するなど、可能な限りコストをかけずに画像の公開を実施した。

#### （今後の課題）

アンケート結果や学識経験者の意見において、更なる画像の充実が期待されていることから、順次、公開画像を増やしていくこととしたい。画像は、当庁でデジタル画像化したものと、国文学研究資料館で公開されている当庁所蔵資料の画像にリンクしているものがあり、ともに公開画像数を増加させていくことに加え、当庁所蔵資料画像の公開を予定している他機関との連携も進めていくこととしたい。また、検索の改善についても、今後検討していくこととしたい。